

狗留孫山登山道あれこれ

東狗留孫山

御詠歌

やえかすみ

みねより

かけて

くるそん

乃

ほとけのちかい

た乃もしき

かな

奥の院の辺りに観音堂があったと伝えられています

当山は人皇四十代天武天皇の勅願にして一国一字の親世音菩薩と伝う。
白鳳元年(650年)大内家の祖先琳聖太子唐土より持渡られ
十一面の靈佛を国の庄に一箇所の靈場を開き
茲(ここ)に安置し賜うものなり。

三十三観音の由来

其の後天文九年(1540年)春、防長、筑豊、芸備、石の七州の太守
大宰大鷲從二位大内義隆公当山に狩して
俄かに岩間より光明赫々(かっかく)として異香薫り屹立した數丈の巖石靈動し
不思議の靈現により渴仰?首して
直に大慶恵海僧に命じて堂宇寺院を建立せしめ再び靈佛を当山に安置し岳、
山内之自然の岩石に三十三身の尊容を刻せしめ
狗留孫山金徳寺と号し
慈海僧を住持とし国家安穩の祈願所と定め
若干の免租の土地を寄せられ
此の御山八丁四面殺生、肉食、女人禁断の靈場とされたり。

全ての観音への道

山頂(544m)、第二ピーク(510m)、東方遙拝所
の眺望を確保しました。

自然と歴史をお楽しみ下さい。